

2023 年 8 月 17 日 熱性けいれんについて

【こどもの熱性けいれん】

最近、夏風邪などが原因で高熱が続いているお子さんが増えています。
夏風邪・突発性発疹・インフルエンザ等での急な発熱が原因で起こるのが熱性けいれんです。

熱性けいれんとは6ヶ月～5歳頃のお子さんにみられるもので、通常 38℃以上の発熱により急激に体温が変化することで意識障害・けいれんを起こします。

けいれんには様々なタイプがあり、手足が硬く突っ張る強直性けいれん・手足がピクピクする間代性けいれん・強直性けいれんから間代性けいれんへ移行していく強直・間代性けいれん等があります。

けいれんが起こった時は慌てず次の対処法を行うようにしましょう。

- ①体温を測って 38℃以上か確認
- ②体・顔を横向きにして唾液・吐しゃ物を誤嚥しないようにする
- ③けいれんが 5 分以上続く又は意識が回復しない場合はすぐ病院へ行くか、救急車を呼ぶ

！けいれん時、口に物を嚙ませると歯が折れたり誤嚥や窒息の恐れがある為、絶対しない。

 けいれん発作後受診した際に医師にどのようなけいれんだったかを説明しやすいように、スマートフォン等でけいれん時の様子を動画で撮影しておくとう便利です。